

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-2-1 一宮商工会議所内 電話(0586)24-1931 ☎491-8686

ロータリーに輝きを

URL:<http://www5.ocn.ne.jp/~rc138/>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2015年6月25日 第3206回例会

会 長 磯部 茂 幹 事 則竹 伸也
会長レクト 猪子 誠児 副 幹 事 桑原 英寿
副 会 長 加藤 恭平 広報会報委員長 小島 幹人

プログラム

クラブアッセンブリー

理事役員退任挨拶

ロータリーソング「四つのテスト」

第3205回例会の記録 2015年6月18日(木)

会長挨拶

磯部 茂

本年度の例会も今日を含めてあと2回となりました。内容のある挨拶では無かったと恥ずかしく思っています。自分にとっては結構負担であり、今はゴールも見えてきて少しほっとしています。

さて、本日例会の前に決算理事会を開催させていただきました。本年度はガバナー補佐関連の事業、65周年記念事業、RYLAのホストとそれぞれ予算規模も大きく、内心大丈夫かと心配していましたが、ご担当頂いた各実行委員長はじめ会員皆様のご協力のおかげで若干の剰余金が繰り越せる結果となりました。また、事業計画には無かったのですが65周年記念として新しい商工会議所会館に電子ピアノを寄贈することもご承認頂きました。詳しくは次年度7月の例会で幹事よりご報告させていただきます。

この後4回目の研修例会です。「ロータリー談義」と題して大森一人会員と私とで思いつくままお互いのロータリーへの思いを語りたいと思います。宜しくご清聴お願いします。

決算理事会報告

幹 事 則竹伸也

* 報告事項 *

☆ 星野 充君 市橋克宜君 馬淵勝三君 退会

次回の予定

クラブアッセンブリー

理事役員就任挨拶

* 協議事項 * 以下の項目を承認

☆ 2014-2015年度決算

☆ 新会員入会について

井上義之君 新田高広君 大橋生江君

委員会報告

出席報告

委員長

瀬古篤司

現在の会員数

91名

本日のビジター

0名

本日の出席数

58名

他クラブ出席数

13名

本日の出席率

78.02%

前々回の出席率

95.89%

ニコボックス

☆ 大森一人君

磯部会長よりご指導いただけるので感謝しております。

☆ 土川保夫君

6月10日(水)開催された一宮商工会議所ゴルフ会で総合優勝できた喜びで、取切戦も優勝となり、有難うございました。同伴の森 克彦さん、鎌田さんに感謝申し上げます。

☆ 青山佳裕君

本社工場、排水処理浄化施設完成。泡・濁りも消えホッとしています。

☆ 足立 誠君

過日次年度ロータリー交換留学生の渡辺真希さん(大成高校)の壮行会に磯部会長始めとする4名のロータリアンにご参加頂き、会に花を添えていただきました。有難うございました。

☆ 伊藤健太郎君

10年ぶりに恩師にお会いする事ができました。心が洗われる一時でした。

☆ 磯部 茂君 則竹伸也君

今日は、ロータリー研修例会として、大森さんと、私磯部の二人で「ロータリー談義」と題して、話をさせていただきます。よろしく願いいたします。

「ロータリーの友」6月号 委員長 馬淵勝三君

○横組みの表紙は今が見ごろの「アジサイ」。写真は、大阪府営大泉緑地公園のものです。

○縦組みの表紙、倉庫屋根のひさしに作られたツバメの巣に育っている五羽のヒナ達。大きく口をあけて親鳥からの餌を待っています。

○表紙めくり、裏側に創始者ポール・ハリスの12枚の写真がありますが、お気づきですか？ 横組

みのポール・ハリス写真下に、毎号メッセージが書かれております。では横組みに戻って、今回のメッセージをご紹介しますと「あなたはロータリーのために何ができますか？」でした。

○最後に、現在の雑誌委員会として今回が最後の紹介となりました。至らない点多かったと存じますが、どうかご容赦願います。一年間ありがとうございました。

***** プログラム *****

ロータリー研修例会

大森 一人君

磯部 茂君

テーマ「ロータリー談話」



磯部: 本年度、私は会長として指針の中に「ロータリーの原点を見つめよう」と謳い、これまでに3回の研修例会を開催いたしました。第1回は村井總一郎氏(豊橋RC)、第2回は井上穂氏(豊橋ゴールデンRC)による卓話、第3回は大森一人君、光寄賢一君、田中由美君をパネラーにそれぞれのロータリー観をお聞きしてまいりました。終了後、感想としてもう少し時間が欲しかったなと思っておりましたところ、大森会員からも同様のご希望をお聞きし今回の企画となりました。

はじめに、設立当初の「ロータリーの大原則」といわれる出席と1業種1会員がこのところでは相当ゆるくなり、出席でいえば前後2週間以内でのメーキャップ、Eクラブでのネットによる出席も可能となりましたし、同業種の複数会員も認められるようになりました。時の流れの中で変化していくことは世の常ではありますが変わってはいけないものもあるように思います。そこでお尋ねします。「ロータリーの原点」をどのようにお考えですか？

大森: 昨今「原点回帰」ということをよく耳にしますが、ロータリーが時代に沿ってよい未来に向かって変わっていきこうとしているのならば何も問題にすることは無いのですが、「原点回帰」がいわゆる裏を返すと現況に対する自信のなさや目標がしっかり定まっていないう姿が見えます。

今日、星野会員の退会が理事会で承認された旨の報告がありました。このところ耳がご不自由で聞こえにくいので最高品質の補聴器をおつけになって例会にご出席いただいていたというロータリーに対する情熱を皆さんに知って欲しい。チャーター当時のメンバーは戦争直後の1949年、戦後の一宮を何としてでも復興させ世界に向けて発展させようという気概を持った22名が集い、各事業所の繁栄のみならず従業員、地域、次世代を担う若者の為にも大変な努力を積み重ねられました。今、これと同様のことをするというのは時代背景も違い困

難ではありますが、「歴史と伝統ある一宮ロータリークラブ」というフレーズを使うのであれば、少なくとも当時の気概と情熱に思いを巡らせてほしい。そしてロータリー会員として礼儀と節度を大切にしてほしい。

磯部: 私なりに「ロータリーの原点」はと問われたとき、恥ずかしながら入会以来あまり考えたこともなく、会長を引き受け所信の原稿を書く段になってやっと「ロータリーで何が一番大事なんだろう」と自問したとき、ロータリーは「I serve」個が集ってそれぞれが啓発されあい、交流を深め、そこで得た何かを会社や家庭に持ち帰り活かすことではないかと考えました。ロータリーの5大奉仕でクラブ奉仕、国際奉仕、社会奉仕、青少年奉仕の4つは、それぞれ「青少年のための奉仕」のように言い換えることができますが、職業奉仕は相応しくありません。むしろ「職業によって奉仕」がピッタリきます。すなわち職業奉仕こそロータリーの原点であると思います。

大森: たしかに職業奉仕が大切なことはわかります。しかし会員としてまず大事なのはクラブ奉仕です。皆さんがロータリーに入会する時、自主志願して入会できた人は誰もいないはず。必ず推薦者がいて理事会で選考され承認の後、異議申し立てがないことの確認後やっと入会になったはず。クラブ奉仕は会員がクラブに馴染んでいただけるよう、またロータリーの精神を理解して「ポールハリスのこころ」をもった人になっていただけるよう努める使命があります。親睦委員会は決して宴会の幹事ではなく、いかにしたら会員相互の交流が深まるかを企画検討するところです。

それぞれの委員会がその使命を全うするために、例会の後でも、喫茶店でも、夜盃を傾けながらもオールラウンドで結構ですから委員会を開催して議論を深めてほしいものです。職業奉仕でいうならばこの地方でまだまだ素晴らしい技術で世界に羽ばたこうとする企業があります。そういった方々の発表の場も提供する機会を造ってほしい。ロータリーには一律の年会費のほかにニコ BOX という素晴らしい制度があります。会費だけでは充分な奉仕事業ができないときに使えるという柔軟な資金制度です。昔は幹事がいろんな情報を集め、会員に協力をお願いしていましたが、これも文面にかかれた内容で情報の共有ができ良いことです。

磯部: 私にとっては耳が痛いことも忌憚なくご指摘いただきありがとうございました。ニコ BOX についてはその取り崩しが今年から少しハードルが低くなりましたが、理事会の責任がその分重くなったと認識して慎重審議が求められます。

大森: 最後に一つお願いがあります。来週の例会が星野充会員の最後の出席例会になります。55年間の100%出席の偉業とご功績を全員で讃え送り出したいと思っております。会長としてなにごぶのご配慮をお願いします。

磯部: ご提案有難うございます。ご期待に沿えるよう努めます。

本日はご清聴ありがとうございました。